

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート 87 号』

「2020 年 年間統計」

森永乳業は、時代とともに変化する子育て・母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設し、2021 年 5 月で 46 年目を迎えます。45 周年を迎えた昨年は、エンゼル 110 番でも新型コロナウイルス感染症予防対策として、相談体制の縮小や長年取り組んできた看護学生の実習をオンラインで行うなど、初めてのことが続きました。そのような中でも、相談のお電話がならない日はありません。

今までにお受けした相談件数はこれまでに 98.5 万件 (2020 年 12 月現在) にのびます。相談者は主にママですが、パパやおじいちゃん、おばあちゃんにも広くご利用いただいています。

今回は、2020 年の年間統計をもとに、相談の傾向をレポートします。

【主な統計結果】

- 2020 年相談件数は 10,375 件、1 ヶ月平均は 865 件。
1 通話の平均時間は 17 分 5 秒に延びた。
- 再相談の割合が新規相談の割合を上回った。
- 1 歳以上のお子さんに関する相談が全体の 50.7% と半数を超えた。
- 相談内容は「食生活」が最も多く 32.9%、次いで「相談者自身」が 19.1% だった。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象 妊娠中～小学校就学前まで
相談員数 17名(看護師、管理栄養士、心理相談員など)
ウェブサイト <https://www.angel110.jp/>

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<報道関係者からのお問い合わせ先>

森永乳業 広報 IR 部 渡邊 TEL 03-3798-0126 メールアドレス pr@morinagamilk.co.jp

<お客さまからのお問い合わせ先>

育児に関する無料電話相談「エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間: 月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14 時

エンゼル 110 番ウェブサイト <https://www.angel110.jp/>

エンゼル 110 番レポート 87 号 「2020 年 年間統計」

2020 年相談件数は減少するも、1 件当たりの相談時間は延長。再相談が半数を超える

2020 年エンゼル 110 番で受けた相談件数は 10,375 件です。1 ヶ月平均では 864.6 件、1 日当たりでは 39.3 件でした。

2020 年 4 月、新型コロナウイルス感染症予防のため非常事態宣言が発出されエンゼル 110 番では感染予防対策として出社人員を減らし、9 月 1 週目まで平日に相談を受ける電話回線数を減らし、9 月末まで土曜日の相談窓口を休止しました。その影響もあり、相談件数は前年から 2,788 件(前年比 69.8%)減少しました(図1、図 2)。ただし、1 件当たりの相談時間は長くなり、相談時間の統計を取り始めた 2015 年は 12 分 38 秒だったものが、2020 年は 17 分 5 秒と約 4 分 30 秒も延びました。また、年間統計としては 45 年の歴史の中で初めて、継続しての利用である再相談が 5,672 件(54.7%)と、新規相談 4,703 件(45.3%)を上回りました(図1)。

図 1 月別相談件数と新規再相談の内訳(2020 年)

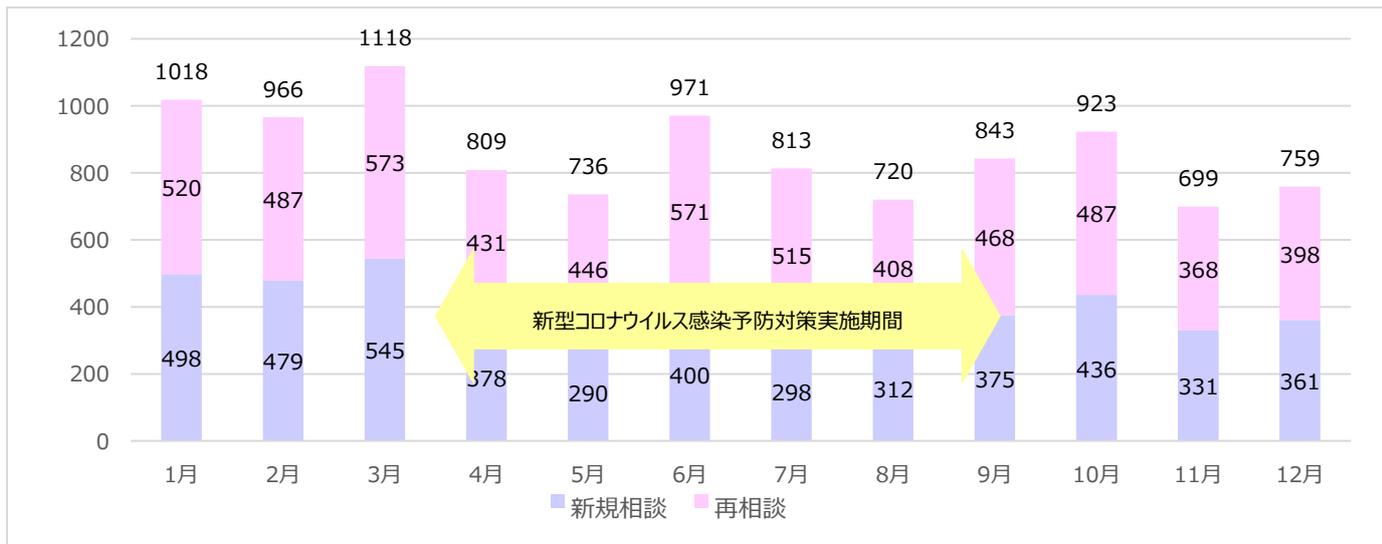
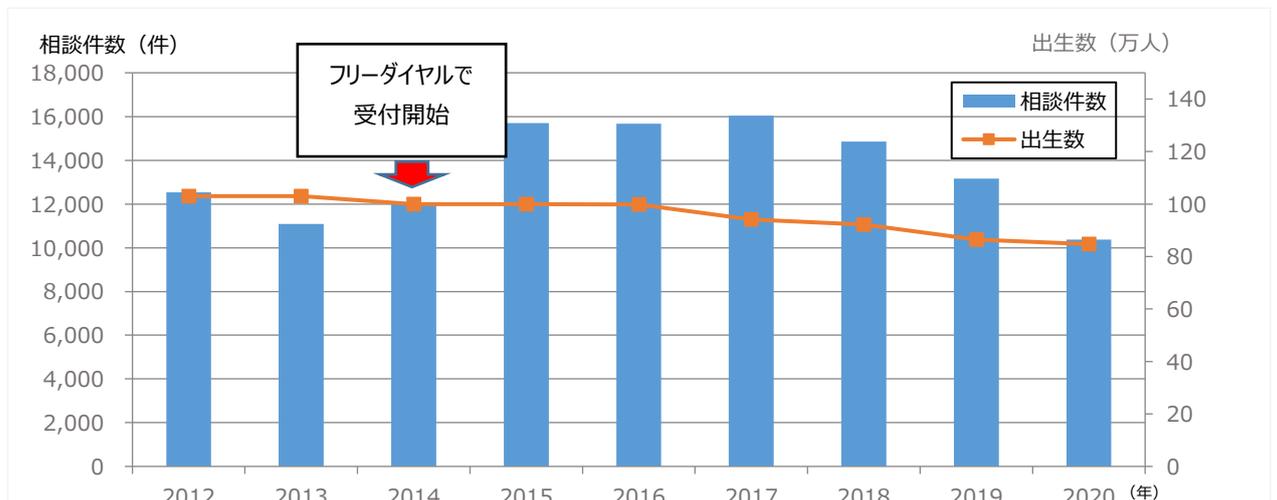


図 2 相談件数と出生数(2012~2020 年)



【ホットボイス～テレワーク～】

4月に非常事態宣言が発出され、テレワークが推奨されるようになると、テレワークに関する相談が入るようになりました。仕事をしながら育児をする大変さを訴える声だけでなく、子どもだけでなくパートナーに対しても、今まで気づかなかった一面についてのご相談もありました。普段とは違う生活を余儀なくされる中で、戸惑いやストレスを抱える様子が伺えました。

■ご相談例

「パパが育児ノイローゼかもしれない。テレワークをしていて、子どもの声や泣き声に反応する。パパのケアをしつつ、子育てをするのは大変」

「子どもの世話のためにママの仕事をテレワークにしてもらっている。

パパもテレワークの回数を増やしてもらっているのですが、協力して子どもの世話をしたいのに、パパは上の子と同じ土俵に立ってしまうのであてにならない」

「自粛生活で2ヵ月一緒にいたら、夫婦の育児方針の違いがあらわになってきた」

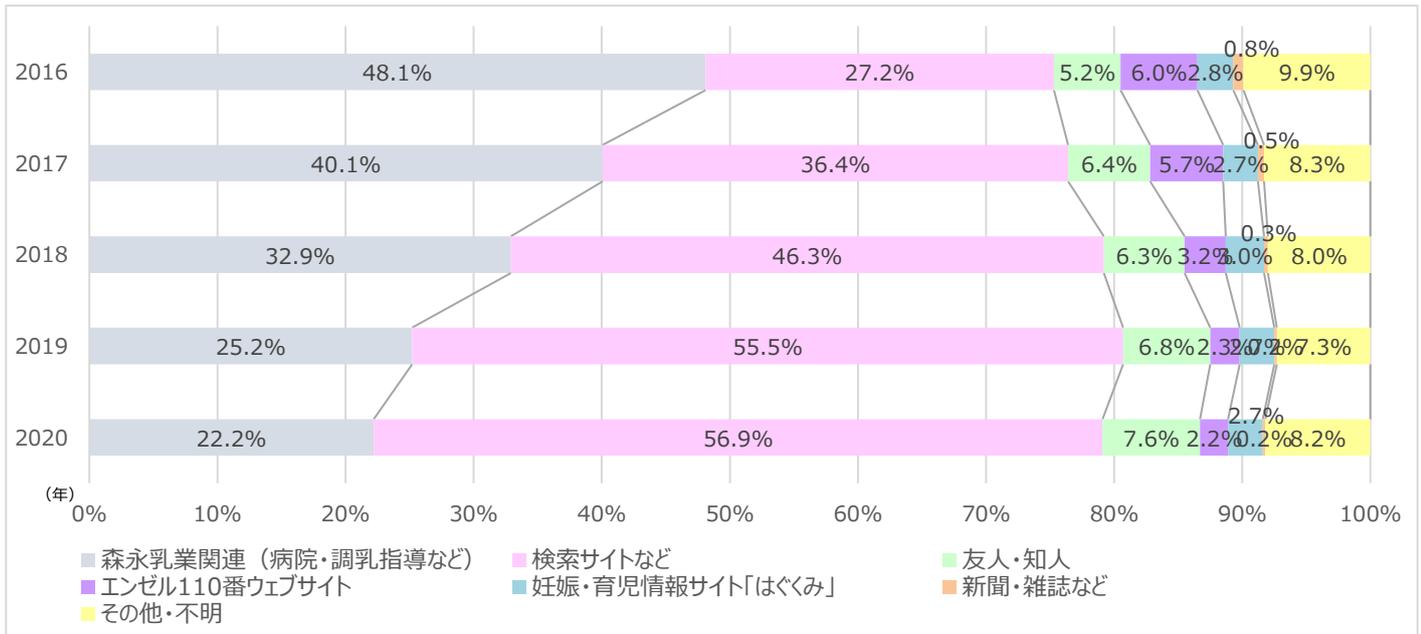
「娘の夫はテレワークが多く、最近時間があるせいか教育に目覚めてしまい、ドリルを大量に購入して6歳の孫に1日3時間やらせてかわいそう」

「ママは普段は仕事が忙しく、で、今までは朝の1～2時間と休日しか子どもと会わなかった。在宅時間が増え、5歳の子どものペースについていけない。合わせていたら、保育園に遅刻してしまった。子どもはこんなに親の言うことをきかないものか？」

インターネットで『無料育児相談』と検索した認知経路が全体の半数を超える

エンゼル110番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く56.9%を占めました(図4)。インターネットでの検索が年々増加し、この5年で2倍以上になっています。

図4 認知経路(2016年～2020年)



ママからの相談が95.2%を占めるも、パパからの相談もじわじわ増加

相談者は95.2%がママで、そのうち30歳代が57.2%と半数を超えています。(図5,6)

図5 相談者の属性(2020年)

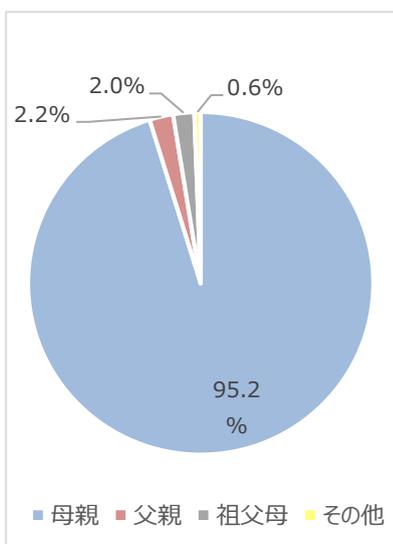
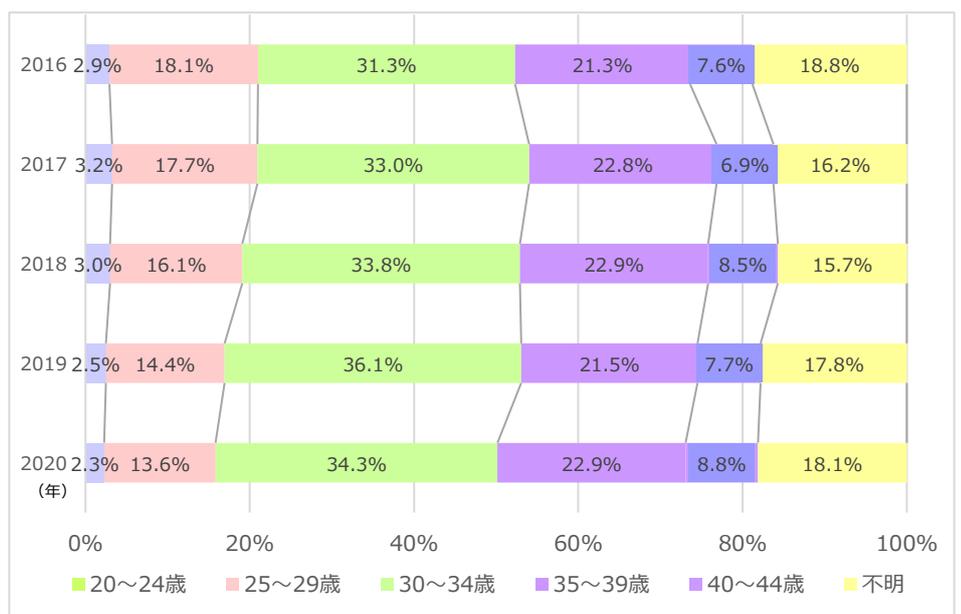
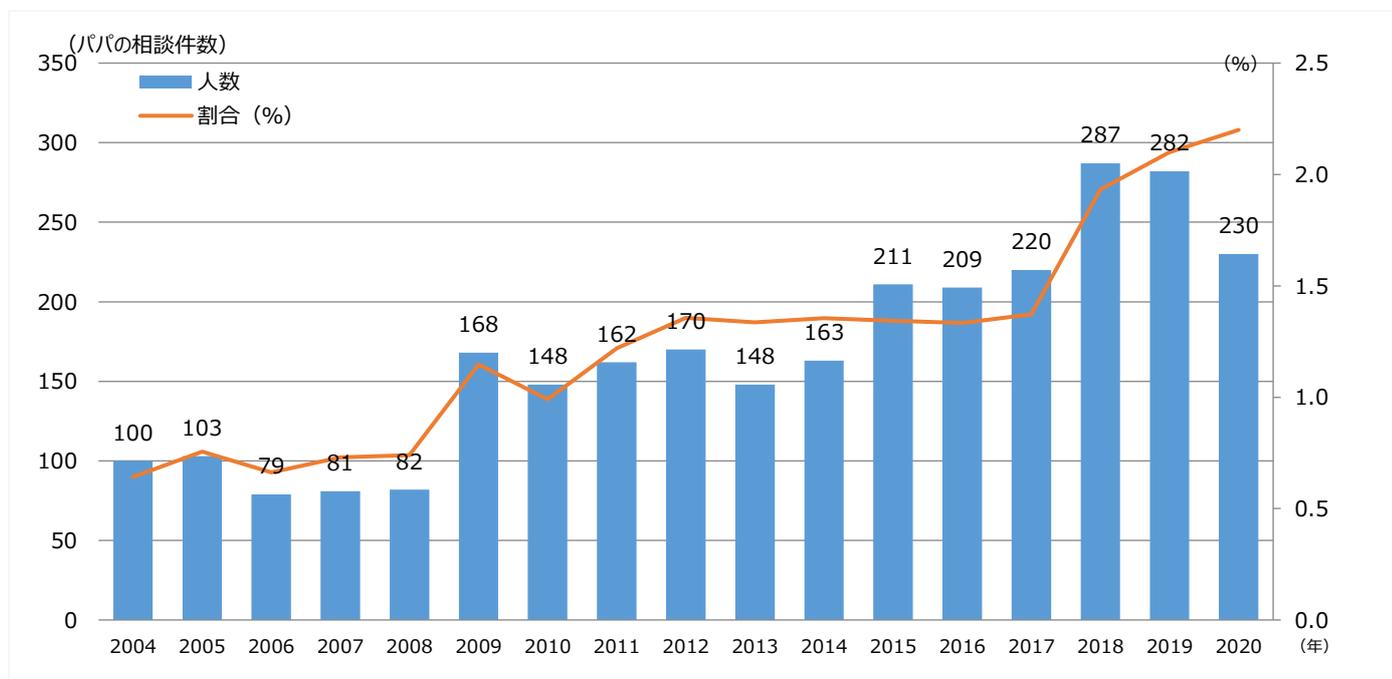


図6 ママの年齢推移(2016～2020年)



また、少数ではありますが、パパからの相談もじわじわと増えており、全体を占める割合もパパの件数を
取り始めた 2004 年の約 3 倍に伸ばしました。(図 7)

図 7 パパの相談件数と割合(2004～2020 年)



【ホットボイス】～パパも大変です～

家事育児の負担はまだまだ女性のほうが重いといわれていますが、パパも育児に参加しようと頑張っている様子が伺えるご相談も寄せられています。

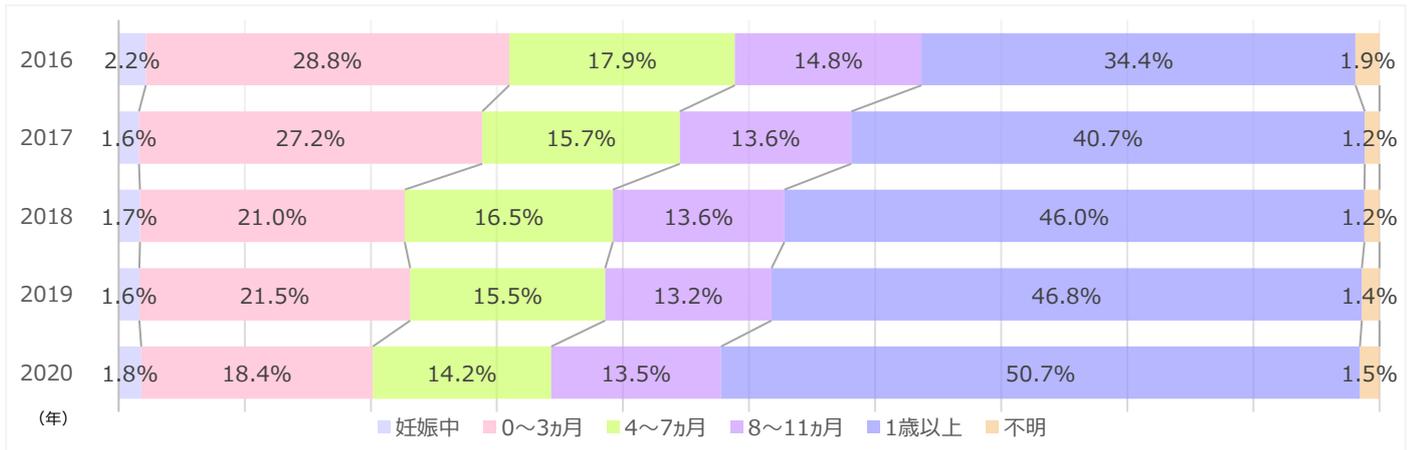
■ご相談例

- ・「パパ見知りが始まった。今までお風呂に入れてあやして抱っこもしていたのに、ギャン泣きされる。自分は夕食も食べずにあやしているが、ママから怒りのオーラを感じる」
- ・「妻が切迫早産で入院中。2歳前後でトイレトレーニングをしなければいけないと本で読んだらしく、妻からトイレトレーニングをしてほしいと言われた。どうしたらよいか？」
- ・「パパはテレワーク中。子どもがパパ大好きでプレ幼稚園や習い事の送迎から、食事や着替えの世話もパパでないとダメ。仕事も忙しく、パパが体調を崩してしまった。パパのためになにかできないか？」

1歳以上の相談が半数を超える

相談対象である子どもの月齢・年齢では、1歳以上の相談が50.7%を占めました。次いで月齢0～3ヵ月までの低月齢が18.4%でした。当社が育児用ミルクのメーカーということもあり、2015年までの40年間は0～3ヵ月までが常に全体の3分の1を占めトップでしたが、2014年にフリーダイヤルで相談を受けるようになってから、1歳以上の割合が増え始め2016年に逆転して以来減少が続いています。(図8)

図8 相談件数における子どもの月齢・年齢の割合の推移(2016～2019年)

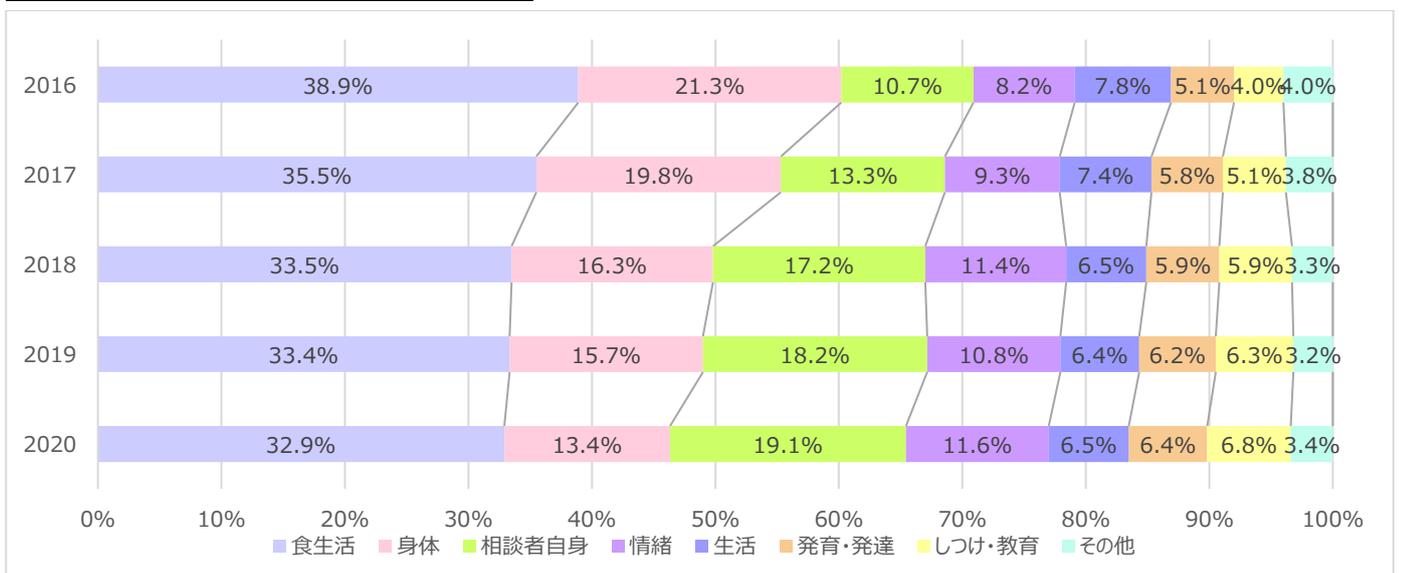


「食生活」が最も多く32.9%、次いで「相談者自身」が19.1%

相談内容で最も多いのは、授乳や離乳食に関する「食生活」で32.9%でした。次いで多いのが相談者と子どもの関係や相談者自身のメンタルに関する「相談者自身」で、19.1%を占めています。ここ数年「相談者自身」が増加する傾向は続いています。(図9)

今年は新型コロナウイルスの影響も見られました。相談の内容の詳細見てみると、2019年に比較して「夜泣き」「哺乳瓶はずし」「食事のしつけ」「体重の増えすぎ」「身の自立」「遊び」「歯磨き」といった内容のご相談が多く見られました。外出を控えざるを得なかったために、運動不足や子どもの気分転換が難しかったのではないかと思います。

図9 相談内容の割合の推移(2016～2020年)



まとめ

2020年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会全体が激変した一年でした。特に4月の緊急事態宣言が発せられた頃は、学校や幼稚園、保育園が休みになり、乳児健診は延期、児童館や子育て支援施設も休館になるなど、子どもたちも自粛生活を強いられました。「子どもを連れ出せず息苦しい」「買い物ぐらいしか逃げ場がない」など、子育て中の親も息抜きしにくい状況が続き、「テレビやDVDを見る時間が長くなってしまっている」「一人遊びをしない」「最近、夜中に泣くようになった」など、親子ともにストレスを溜め込んでいる様子が伺えました。

5月下旬の宣言解除後も、「三密」を避けるために子育て支援施設や一時保育、ファミリーサポートなどに人数制限が設けられるなどの対策がなされているためか、外出しづらい状況は続きました。「他の子どもと接する機会が少なく、発育発達が正常なのかわからない」などの戸惑いの声や、「夫が出張のたびにお酒を飲んで帰ってくる。新型コロナ感染で問題になっているのに、無神経」「幼稚園の友だち同士で遊ぶ約束をしたが、大人数になると**三密が避けられないから少人数にしたいが、他のママたちはあまり気にしている様子でもない。**」「東京で子育てをしている娘が帰省したいというが、どうすればよいか?」「といった周囲の新型コロナウイルス感染症予防への意識の差に悩む声も聞かれました。

2021年もしくはは同じような状況が続くことが予想されます。エンゼル110番の相談員がお話を伺わせていただくことで、子育て中のママやパパのストレスが解消されるように努めていきたいと考えます。

以上

エンゼル110番レポートのバックナンバー

1993年4月	第1号『離乳食』
1993年7月	第2号『初めての泊りがけ旅行』
1993年10月	第3号『胎教』
1994年1月	第4号『お年玉』
1994年5月	第5号『夫の育児参加と妻の満足度』
1994年8月	第6号『妊娠中の食事について』
1994年11月	第7号『育児雑誌を読みますか』
1995年2月	第8号『早期教育は必要ですか』
1995年5月	第9号『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』
1995年8月	第10号『どんな出産をしましたか』
1995年10月	開設20周年記念冊子『60万件の電話相談から』
1996年11月	第11号『子育て費用をどう考えますか』
1996年2月	第12号『子どものことを夫婦で話し合っていますか』
1996年10月	第13号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』
1996年12月	第14号『理想の父親像と母親像』
1997年4月	第15号『子育て中のお母さんの自由時間』
1997年6月	第16号『子どもを預けたことはありますか』
1997年9月	第17号『子育て中のストレス解消法』
1997年12月	第18号『かかりつけのお医者選び』
1998年4月	第19号『“格好いいお母さん”が当たり前？』
1998年6月	第20号『35歳からの子育て』
1998年9月	第21号『これからはママもパソコン使います』
1998年12月	第22号『35歳からの子育て パートⅡ』
1999年3月	第23号『実家とどうつきあっていますか』
1999年6月	第24号『子どものアレルギーについて』
1999年9月	第25号『子ども連れのお母さんが見た街作り』
1999年12月	第26号『子育てが楽しいと感じる時』
2000年3月	第27号『離乳食は得意ですか』
2000年6月	第28号『子育て仲間はどこで見つけましたか？』

2000年9月	第29号『子連れで海外旅行に行きましたか？』
2000年10月	開設25周年記念冊子『医療関係者向アドバイスブック』
2000年12月	第30号『私たちのミレニアム・ベビー』
2001年3月	第31号『ママたちのIT革命』
2001年6月	第32号『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか？』
2001年9月	第33号『妊娠してからの食生活の変化』
2001年12月	第34号『絵本の読み聞かせをしていますか』
2002年3月	第35号『育児日記をつけていますか』
2002年6月	第36号『ママたちの再就職事情』
2002年9月	第37号『テレビやビデオをどのように見せていますか』
2003年1月	第38号『夫の育児参加と妻の満足度（その2）』
2003年4月	第39号『子育てにインターネットを活用していますか？』
2003年7月	第40号『子育てコストとママの生活満足度』
2003年12月	第41号『ママたちの育児スタート -産後に望む支援サービス-
2004年4月	第42号『子育てママの喫煙・禁煙』
2004年9月	第43号『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
2004年11月	第44号『ママたちの産院選びと立ち合い出産の実態』
2005年3月	第45号『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか？』
2005年7月	第46号『赤ちゃんのアレルギー・気になりますか？』
2005年11月	第47号『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか？』
2006年4月	第48号『子育てママの携帯電話活用法』
2006年7月	第49号『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
2006年11月	第50号『子どもは何人ほしい？』
2007年2月	第51号『子どもに習い事をさせますか？』
2007年8月	第52号『「3歳児神話」をしていますか？』
2008年1月	第53号『子どもを預けたことがありますか？（その2）』
2008年4月	第54号『「お母さんになったな」と初めて感じたのは？』
2008年9月	第55号『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』
2009年1月	第56号『ここが困った！子連れ外出事情』
2009年5月	第57号『不況に負けない！ママの明るい節約術』

2009年9月	第58号『孫育て』
2009年11月	第59号『ママ友とおつきあい、どうしていますか？』
2010年5月	第60号『夕食の献立どうやって考えていますか？』
2010年8月	第61号『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
2010年11月	第62号『パパはイクメンですか？』
2011年2月	第63号『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
2011年5月	第64号『育児日記をつけていますか？』
2011年9月	第65号『ママたちの節電対策』
2012年1月	第66号『今、大切にしたいもの』
2012年6月	第67号『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
2012年11月	第68号『子育てママのお正月』
2013年3月	第69号『名づけ』
2014年4月	第70号『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか？』
2014年12月	第71号『母乳への意識』
2015年4月	第72号『現代のママ事情』
2015年7月	第73号『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
2015年9月	第74号『子育てしやすい街の条件』
2015年11月	第75号『働くママの気持ちと職場の理解』
2016年6月	第76号『ママたちが活用しているアプリは？』
2017年1月	第77号『結婚前の料理経験はどのくらいですか？』
2017年7月	第78号『なぜ、今「電話相談」なのか』
2017年11月	第79号『ママたちのストレスとその解消法』
2018年3月	第80号『2017年 年間統計』
2018年8月	第81号『ママたちの育児スタートは？』
2019年2月	第82号『2018年 年間統計』
2019年10月	第83号『ここが困った！子連れ外出事情』
2020年3月	第84号『2019年 年間統計』
2020年7月	第85号『コロナ禍で寄せられたママたちの不安と悩み』
2020年10月	第86号『離乳食－昔と今 ～変わったこと・変わらなかったこと～』